

第5学年 道徳科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時
学 級：第5学年〇組〇名
場 所：5年〇組教室
授業者：〇〇 〇〇〇

1 主題名 よりよい友達関係 【内容項目 B 友情、信頼】

2 教材名 「知らない間のできごと」 (『小学道徳 生きる力 5』 日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について(道徳的価値観)

小学校高学年においては、これまで以上に友達を意識し、仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする姿が見られる。その時に、相手に対して友情を一方的に求める傾向があり、「～してもらいたい」「～してくれない」と、自分にとって得になることを求めがちである。そして求めた友情が、自分の願い通りでなかった場合、相手のことを信じることができず、一方的に関係を切ってしまうこともある。友情は、一方的なものではなく、相互に信頼し合うことが大切であることに気づき、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていくことが大切である。

(2) 価値に関わる児童の実態について(児童観)

本学級の児童は、良好な友達関係をつくることができ、グループ内で楽しく交流をしている。ただその中で、自己中心的な発言や行動がみられる場合がある。相手の立場になって考え、お互いに高めあいながら、友情を深めていこうとする態度を育てたい。

(3) 教材について(教材観)

本教材は、転校してきたあゆみと、クラスメイトとなったみかのそれぞれの回想が書かれてある。あゆみの自己紹介を聞き、みかは友達になりたいと思い、メールアドレスを聞くために声をかけた。ところがあゆみは、携帯電話をもっていなかった。みかは、そのことから推測した内容をメールでクラスの友達に送った。翌日あゆみは、教室に入るとみんなの視線を感じたので、となりの席の男子に聞いてみた。すると根も葉もないことがメールで流されていることが分かり、それを知ったあゆみは、帰りの会で自分の思いをクラスの中で発言した。そのことを聞いたみかは、自分のメールが原因だと思い、あゆみに電話をかけたという内容である。

活用に当たっては、軽率なメールにより友達を傷つける結果を招いてしまったみかの行動や思いを通して、よりよい友達関係を築くために、大切なことは何かについて考えられるようにしていきたい。

4 本時のねらい

メールの内容が間違っって伝わってしまったことに気付いたみかの後悔から、友達関係を築くためには、相互に信頼し合うことが大切であることに気づき、友情を深めていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。

5 本時の展開

時間	学習活動・主な発問	予想される児童の思い	教師の支援と評価
導入	<p>1. 事前アンケートを基に主題について話し合う。</p> <p>○信頼できる友達とは、どのような人か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいてくれる。 ・話を聞いてくれる。 ・ウソをつかない。 ・約束を守る。 ・分からないことを教えてくれる。 ・アドバイスをしてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートフォームを使い、事前に実施したアンケートの結果を示し、友達についての価値観を話し合うことで、本時の主題へ関心を持てるようにする。授業の初めに時間をとって、結果をすぐに児童に示せるようにしてもよい。 ・「～してくれる」とは、自分の思いを受けとめてほしいという一方的な友情であることに注目し、ねらいとする価値への動機付けをする。
<p>学習のめあて：「よりよい友達関係」とは、どのような関係か考えよう。</p>			
展開	<p>2. 教材「知らない間のできごと」を読んで話し合う。</p> <p>○あゆみに声をかけ、携帯電話をもっていないことを知ったとき、みかは、どのような気持ちになったでしょう。</p> <p style="text-align: center;">感情を確認</p> <p>3. 考えを深める。</p> <p>○みかが、頭があゆみのことではいっばいになったのはどうしてでしょう。</p> <p style="text-align: center;">(ワークシート1)</p> <p style="text-align: center;">原因を特定</p> <p>○みかは、あゆみに電話でどのようなことを話したでしょうか。(中心発問)</p> <p style="text-align: center;">(ワークシート2)</p> <p style="text-align: center;">対応を検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残念(メールでやり取りができると思ったのに。) ・怒り(せっかく声をかけたのに思っていた返事と違う。) ・疑問(なんで携帯電話をもっていないのかな。) ・自分のせいであゆみに嫌な思いをさせた。 ・あゆみと友達になれない。 ・あゆみにあやまりたい。 ・あゆみに何を話したらいいのか。 ・私のせいでこんなことになってごめんなさい。 ・友達になりたいと思っている。 ・クラスの友達の誤解を解くように私から、きちんと話をするね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達になれると思って、声をかけたが、予想と違った返事が返ってきたみかの気持ちを考えることでそれが一方的であることに気付くようにする。 ・相互に信頼し合うことの大切さに気付くようにする。

			<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技をすることで、友達関係は双方向的な見方をすることが大切であることに気付けるようにする。 ・これまでの学習を思い出し、友達関係では、相手軸に立って考えることが大切だと学んだことを思い出すようにする。 <div data-bbox="965 483 1414 806" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 記述・発言</p> <p>あゆみの立場になって考えられていなかったことに気づき、そこからよりよい友達関係を築こうとするみかの思いについて考えることができたか。</p> </div>
<p>終末</p>	<p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <p>○よりよい友達関係を築いていくために、どのようなことを大切にしていきますか。</p> <p>(ワークシート3)</p> <div data-bbox="284 1218 480 1281" style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffff; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>行動の準備</p> </div>	<p>・友達の信頼を失わないように疑問に思ったことは、納得のいくまで話すことが大切。</p>	<div data-bbox="965 891 1414 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 記述・発言</p> <p>「よりよい友達関係」について、自分を振り返ることができたか。</p> </div>